

その「専門技能」、 卒業する頃には AI・ロボットの仕事に？

学校案内に並ぶ「身につく技能」と、関連する検定・資格の例

旋盤・溶接

技能検定：機械加工（普通旋盤作業）
溶接技能者評価試験

CAD・3D CAD

2次元CAD利用技術者試験
3次元CAD利用技術者試験

レタリング・色彩

レタリング技能検定 ※2027年最終
カラーコーディネーター検定試験

デザイン・動画編集

CGクリエイター検定
アディ認定プロフェッショナル

文書・表計算・プレゼン

パソコン利用技術検定
プレゼンテーション作成検定試験

プログラミング・情報技術

情報技術検定
C言語プログラミング能力認定試験

検定は、努力と技能の証明。

「学ぶ価値」と「人に頼む価値」は、同じではない。

※代替の範囲・時期は業務や現場条件による。基礎学習の否定ではありません。画像は将来像を含むイメージ。

※掲載は各分野の例です。国家検定・民間資格・評価試験を含み、各校の実施内容を示すものではありません。

同じ品質。 より長く、より安く。 それでも、人に頼みますか？

人には、時間と体力の限界がある。
同じ仕事を、総費用でも安く任せられるなら？

長時間稼働

24時間操業を支える

設備・運用体制が前提

品質の安定

反復作業のばらつきを抑制

無欠陥を保証する
ものではない

総コスト

1個あたりの費用で比較

設備・保守・電力も含める

「人間にもできる」だけでは、
人間が選ばれる理由にならない。

※稼働・品質・費用は設備と運用条件による。24時間操業は無停止・無欠陥を意味しません。画像は将来像を含むイメージ。

技能を、仕事につなぐ。 だから、免許を。

免許がなければ、担えない仕事がある。

電気工事士

対象となる電気工事を担う資格

電気主任技術者

電気設備の保安を監督する資格

技能を捨てるのではない。

検定を否定するものでもない。

学ぶ過程と努力を大切に、免許取得を教育の柱に。

卒業するとき、その手に免許を。

社会で仕事を担う力を、身につけてほしい。

※対象業務・免状取得要件は資格によります。第一種電気工事士の免状取得には実務経験が必要です。
資格だけで雇用が保証されるものではありません。